

2020年度 高柳健次郎賞・高柳健次郎業績賞 決定

公益財団法人高柳健次郎財団(理事長末松安晴)は、電子科学技術及びその応用に関する独創性ある研究開発について表彰する「高柳健次郎賞」1件、「高柳健次郎業績賞」2件、「研究奨励賞」3件を決定した。各賞は、羽鳥光俊 氏(東京大学名誉教授)を委員長とする選考委員会で慎重な審査により選定されました。

◆ 高柳健次郎賞 (表彰盾並びに記念のメダル贈呈)



青山 友紀 博士 東京大学 名誉教授

業績内容

「超高精細映像技術の先駆的研究と
4K マルチメディアネットワーキング利用の普及への貢献」

青山氏は超高精細 (SHD: Super High Definition) 映像技術の先駆的研究者であり、強いリーダーシップで映画業界に影響を与え、100 年もの歴史を誇るアナログフィルムに代わる映画のデジタル化に貢献した。この成果はハリウッドにおける標準仕様や世界標準の「4K」として採用され、世界の 90%以上の映画館が採用するデジタルシネマの普及に大きな影響を与えた。これにとどまらず、ライブ映像配信や遠隔会議、遠隔医療など、4K の映画以外の分野への適用にも尽力した。

現在では、4Kテレビが一般家庭に広まり、世界各国で4K放送が行われ、4Kインターネット動画配信サービスや4K遠隔会議システムの販売も始まり、4K遠隔医療のトライアルも多く行われている。このような世界的潮流を起し、ブロードバンド・マルチメディアネットワーキング技術の先駆的研究開発の推進と、その分野における後進研究者の育成に多大な貢献を行った。

◆ 高柳健次郎業績賞 (表彰盾並びに副賞として賞金 50万円贈呈)



甲藤 二郎 博士 早稲田大学 理工学術院・教授

業績内容 「インターネット時代における映像圧縮と
映像通信に関する先駆的な研究開発」



澤田 宏 博士 日本電信電話株式会社 コミュニケーション科学
基礎研究所 協創情報研究部部長／上席特別研究員

業績内容 「音響信号のブラインド音源分離に関する研究」

この件に関するお問い合わせ先

公益財団法人 高柳健次郎財団

〒102-0082 東京都千代田区一番町4番地5 ニューライフ 一番町 309 電話 03-3239-1207

ホームページ <https://takayanagi.or.jp>

メールアドレス tkinenz@oak.ocn.ne.jp